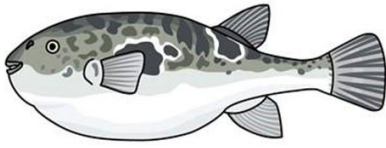


# トラフグ



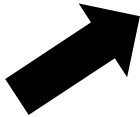
- ・ はえ縄、定置網、小型機船底びき網、まき網などで漁獲される。
- ・ 1歳で全長26cm(0.4kg)、2歳で40cm(1.4kg)、3歳で48cm(2.9kg)に成長し、寿命は10年程度と考えられている。
- ・ 産卵期は4～5月で、成熟年齢は雄で2歳、雌で3歳。

## 資源評価

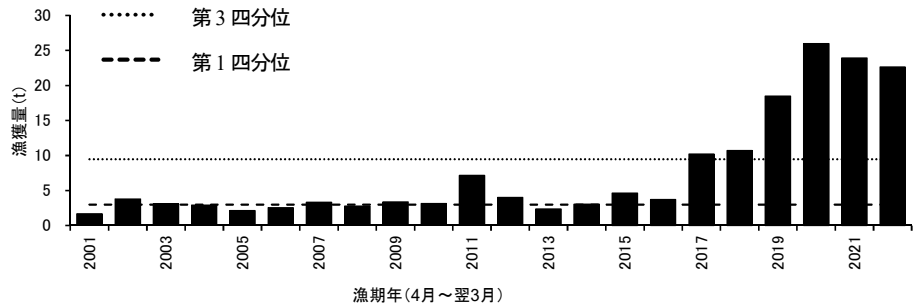
水準：高位



動向：増加



## 漁獲量



県内12漁協におけるトラフグ漁獲量の経年変化 (千葉県調べ)

12漁協におけるトラフグ漁獲量は、2001～2016年漁期は2011年漁期を除き約2～5トンで推移していたが、2017年漁期に10.2トンに急増し、その後も増加傾向を示し、2022年漁期は22.7トンであった。

注) 資源水準は、原則過去20年以上の評価指標値(漁獲量)から4分位により評価した。  
資源動向は、最近5年間の評価指標の近似式から年間5%以上の増減の有無により判断した。

## 資源状況の判断

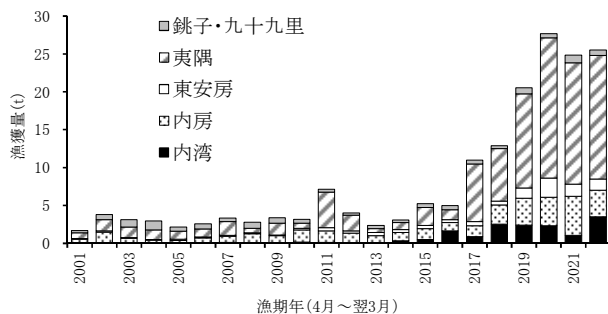
- ・ 資源水準及び動向は、漁獲量の推移から判断した。
- ・ 2022年漁期の資源水準は高位、最近5年間の資源動向は増加傾向にある。

## 資源管理の取り組み

- ・ はえ縄では操業期間の制限など漁業者による自主的な資源管理が行われている
- ・ 県では、放流種苗の移動・分散及び放流効果を把握するため、2015～2019、2022年に東京湾において、2020、2021年に外房において標識放流試験を行っている。

## 備考

現在、国は伊勢・三河湾系群(三重～静岡)の資源評価を行っている。同系群と千葉県沿岸域に分布するトラフグとの関連を明らかにするため、水研機構と連携して調査を進めている。



(参考) 地域別トラフグ漁獲量の経年変化

(千葉県調べ、2014年まで県内12漁協、2015年から県内16漁協)  
夷隅地域のはえ縄で漁獲が急増している。